



毎日暑い日が続きますね。そんな暑さを味方につけ、子どもたちは毎日プールあそびや夏野菜の収穫など、夏ならではの体験を思いっきり楽しんでます。

先日の夏まつりでは、くま組・らいおん組のみの開催でしたが、暑い中多くの方にお越しいただきありがとうございます。おかげさまで、楽しく夏まつりを実施することが出来ました。

夏の身体は、おとなも子どももかなりの体力を消耗します。だからこそ、いつも以上に「食事・睡眠・休養」が大切となります。早寝・熱中症対策に留意して、いろいろと制約の多い夏となりますが、元気に楽しくお過ごしいただければと思います。

今後の行事について

防災受け渡し訓練(9月)

9月2日(木)に予定していましたが「防災受け渡し訓練」は昨年度に続き中止とさせていただきます。つきましては、お迎えは通常の間通りで結構です。よろしくお祈りいたします。
※子どもを対象とした総合防災訓練はクラスごとに実施します。また、お迎えの際に受け渡し確認のみさせていただきますのでご協力の程よろしくお祈りいたします。

敬老の日会(9月)

9月17日(金)に予定していましたが「敬老の日会」についても、昨年度に続き中止とさせていただきます。楽しみにしていた皆様方には誠に申し訳ありませんが、ご理解の程よろしくお祈りいたします。

親子運動会(10月)

10月9日(土)あさひ公園にて実施を予定している「親子運動会」は、うさぎ組・ぱんだ組・くま組・らいおん組での実施とさせていただきます。実施にあたっては、第一部(うさぎ組・ぱんだ組)、第二部(くま組・らいおん組)の2部に分けての実施とさせていただきます(入れ替え制)。
※雨天時は10月16日(土)に順延します。

保護者懇談会・保育参加(11月)

11月の「保護者懇談会」は現時点では実施の予定です。また、保育参加(うさぎ組～らいおん組)につきましては、「親子レク」に内容を変更し、近隣の公園にて実施する予定です(雨天時は中止)。詳細につきましては後日改めてお知らせさせていただきます。

ぺんぎん組担任の大和あみが8月より産休となります。

8月の予定

- 5(木) 音楽指導(幼児)
- 6(金) 避難訓練
- 23(月) 職員園内研修
- 23(月) 体育指導(幼児)
- 23~27 身体測定
- 27(金) お誕生日会

◎プール納めにつきましては気温の状態などにより変更となる場合があります。その際には改めてご連絡させていただきます。

9月の予定

- 2(木) 防災集会
- 3(金) プール納め
- 9(木) 音楽指導(幼児)
- 10(金) 流しそうめん
- 13(月) 体育指導(幼児)
- 13(月) 身体測定
- 21(火) 調理保育(くま)
- 24(金) 職員会議
- 24(金) お誕生日会
- 29(水) 運動会総練



夏のトラブル対策



真夏のおそとは熱中症が心配！

汗をたくさんかく季節には、脱水症状を起こさないように十分な注意が必要です

大量の汗をかいて脱水症状を起こし、体温調節がきかなくなる熱中症。子どもは体の調節機能が未熟なために、大人よりもずっと熱中症にかかりやすいので注意が必要です。ちょっとした油断が、命の危機につながることも……。水分補給を心がけるのはもちろんですが、無理な外出を控えるなど、親の行動いかに防げる病気ですから、しっかりと対策を。

熱中症の症状と対処法は



元気がなくなりぐったりする、顔が赤い、体が熱い、おしっこの量・回数が減る、などが熱中症のサイン。青ざめて汗をかき、頭を痛がったり吐いたりする子もいます。こんなときは、すぐ涼しい場所へ移動し、衣服をゆるめて安静に。濡れタオルなどで体を冷やし、イオン飲料で水分を補給しましょう。自力で水分が取れなかったり、意識がはっきりしない、けいれんを起こすなどの場合は一刻も早く病院へ。

熱中症を予防するには

子どもは急に熱中症で倒れることもあるので無理をさせないように大人の管理が必要。炎天下では遊ばせないようにして、外出時は帽子などをかぶせましょう。水分補給は水分と塩分を同時に補給できるイオン飲料で。海辺や運動中など大量の汗をかくときは20分間隔が目安です。気をつけたいのは車。エアコンをつけても日射しで車内が熱いことも。短時間でも、子どもを残して車を離れないように！

あせもができちゃった！

あせも対策は、予防も治療も清潔を保つことが第一です

汗を出す「汗腺」に汗やほこりが詰まり、皮膚に炎症を起こしたものが「あせも」です。もっともよくある子どもの皮膚トラブルですが、だからといって軽くみないで！気づかないうちにかきこわして重症化したり、細菌やカビによる感染を起こしたりすることもあります。そんなことにならないためにも肌を清潔にして、まずはあせもを退治しましょう！

あせもの原因と対処法は

温度と湿度が両方とも高いとき、あせもはできやすいもの。冬でも発熱時や厚着のしすぎであせもができます。とくに頭、首、胸、もも、脇の下、ひじの内側など、汗の多い場所は要注意。また、車のチャイルドシートに座って背中が蒸れ、あせもになるケースも多いので気をつけて。軽いうちなら、肌を清潔にして衣服の風通しをよくすれば自然に治ります。ベビーパウダーは汗腺をふさいだり症状を悪化させることもあるので使わないほうが無難。

あせもを予防するには

とにかく清潔にして、肌を涼しく湿度の低い状態に保つこと。首や関節周りは皮膚を伸ばすように洗います。予防のためならベビーパウダーも使ってOK



肌がこんなに焼けちゃった！

日焼けは肌のやけどですから、できる限り予防しましょう

日焼けは太陽の紫外線によって皮膚が炎症を起こした状態。れっきとした「やけど」の一種です。範囲と程度がひどければ、命にかかわることも……。また、子どものころから日焼けを繰り返すと、肌の老化が早まり、遺伝子が傷ついて皮膚ガンを起こすともいわれています。できるだけ予防して、ちよっぴり焼けたお肌にはきちんとアフターケアをしてあげましょう。

日焼けの症状と対処法は



やけどなので、基本はまず冷やすこと。水につけるか、濡れタオルなどで包んで扇風機を当てます。水疱ができたときは、つぶさないように気をつけて。広い範囲に水疱ができていたり、熱があったり、ショック症状が起きていたら、すぐに病院へ連れていきましょう。

日焼けを予防するには

1歳未満の赤ちゃんは皮膚が薄く日焼けが重症化しやすいので、夏の直射日光には当てないこと。例えばビーチに行くのは避けてください。その後3歳までは、日焼けや熱中症に厳重警戒が必要。アウトドアでは日陰を確保して適宜休ませ、帽子や服でできるだけ皮膚を覆います。日焼け止めは、肌との相性を確かめてから使うこと。少量を腕の内側につけて1日様子をみて、かぶれなければ大丈夫です。